



この NEWS は、中小企業者経営に「役立つ情報」を DBB(株)が各種情報ソースより厳選してお届けしています

## 県内動向

東京商工リサーチ東北支社が 7 月 4 日に発表した東北の 2025 年上半期(1-6 月)、企業倒産状況(負債 1000 万円以上)によると、倒産件数は 312 件、負債総額は 448 億 3100 万円だったとの事。件数は 2010 年以降で最多。コロナ融資の返済開始に、物価高が追い打ちをかけた。



## 8月の行事 葉月 (はづき)

| 日  | 曜 | 行事      |
|----|---|---------|
| 7  | 木 | 立秋      |
| 11 | 月 | 山の日 (祝) |
| 23 | 土 | 処暑      |

8月盆: 13日(水)~16日(土)

大安: 5日、11日、17日、27日

## 特集【日本のエネルギー】

| 時代      | 主なエネルギー政策         |
|---------|-------------------|
| 戦後~1960 | 石炭から石油への転換        |
| 1970~   | 石油危機、エネルギー多様化     |
| 1990~   | 地球温暖化対策、省エネ、再エネ導入 |
| 福島事故    | 原子力見直、再エネ拡大、電力自由化 |

戦後の日本は、石炭中心だったエネルギー供給を石油へと転換しました。しかし、1970年代の石油危機をきっかけにエネルギー源の多様化が重要となり、原子力や天然ガスの導入が進みます。この頃から「エネルギーの安定供給・効率性・環境保全(3E)」が政策の柱となっています。

1990年代以降は、地球温暖化対策が急務となり、再生

可能エネルギーの導入や省エネの推進が強化されました。しかし 2011 年の福島第一原発事故を契機に、原子力政策は見直され、再生可能エネルギーへの依存が一層強まりました。同時に電力自由化が進み、日本のエネルギー市場の構造も大きく変化しています。現在、日本のエネルギー政策は「2050 年カーボンニュートラル」の実現、すなわち CO<sub>2</sub>排出ゼロを目指す脱炭素化が中心課題です。そのため、再生可能エネルギーの主力化、水素・アンモニア等の次世代燃料の活用、CCUS(二酸化炭素の回収・貯留)技術の導入、原子力の再評価等が注目されています。あわせて電力の安定供給のために送電網の整備や蓄電池の普及も進められています。

とりわけ原子力は、エネルギーの海外依存を減らしつつ、安定的に電力を供給できる選択肢として再び注目されています。再生可能エネルギーには天候に左右されるという課題があるため、今後の電力需要増に対応するには、原子力の役割が再び重要になるとの認識が強まっています。今後の政策の鍵は、こうした動きに対する国民の理解と信頼の確保にありそうです。

## 事業盛衰

事業には必ず盛衰の波があります。市場の変化、技術革新、消費者ニーズの変化により、かつて繁栄したビジネスが衰退し、新たな業種が台頭します。

例えば、かつて日本全国に多数存在した町の写真屋は、デジタルカメラとスマートフォンの普及により需要が激減し、多くが閉店に追い込まれました。一方で、画像加工アプリやSNS連携型の写真プリントサービス等が新たな市場を築いています。またレンタルビデオ業界も典型例です。VHS から DVD への変遷には対応しましたが、Netflix や Amazon Prime 等の動画配信サービスの登場で大幅に衰退しました。

一方で、時代の変化を読み、事業転換を成功させた例もあります。たとえば富士フィルムは、写真フィルム事業が縮小する中、医療機器や化粧品分野に進出し、企業の再成長を遂げました。

このように事業の成功には「変化への対応力」が不可欠です。市場動向を正確に読み、柔軟に舵を切る企業こそが、長期的に生き残ります。

私達は常に市場の変化、技術革新、消費者ニーズの変化に敏感でなければならないですね。

本 NEWS の配信をご希望の方は、件名に「NEWS 配信希望」と記載し、本文に必要事項(会社名、担当者名、メールアドレス、連絡先)を記載して、下記アドレス宛にメールして下さい。

【発行者】

経営コンサルタント事務所  
ダイナミックビジネスブレイン株式会社

宮城県仙台市泉区将監殿 4-8-2  
info@dynamic-bb.com  
http://www.dynamic-bb.com



この NEWS は、中小企業者経営に「役立つ情報」を DBB(株)が各種情報ソースより厳選してお届けしています

## 経営法務

前回は「私近代法の三大原則」について超簡単に説明しました。私的自治の原則により、法律行為自由の原則、契約自由の原則、過失責任の原則が成り立ちます。今回もその続き。もう少し詳しく説明します。

- 1) 法律行為自由の原則  
法律行為については、当事者の意図した通りに効力が発生するという原則。
- 2) 契約自由の原則  
契約の締結・内容・方式を国家の干渉を受けず自由にすることが出来る。
  - 契約締結の自由
  - 相手方選択の自由
  - 契約内容の自由
  - 契約方法の自由  
(形式の自由)
- 3) 過失責任の原則  
加害行為と損害の間に因果関係があったとしても、行為者に故意・過失がない場合には損害賠償の責任を負わないとする原則。これらは原則です。実際には弱い立場にいる中小企業等保護のため、様々な例外（特例法）が定められています。下請法、PL 法等がその例です。

<続く>

## エンタルピーVs エントロピー

エンタルピーとエントロピー、非常によく似たこの両者、混同していませんか？簡単に説明します。

- エンタルピー (H)  
熱の出入り（熱エネルギーの量）を表す単位。  
エンタルピーの変化 ( $\Delta H$ )  
 $\Delta H$  がプラス (+)  $\Rightarrow$  熱を吸う（吸熱反応）  
 $\Delta H$  がマイナス (-)  $\Rightarrow$  熱を出す（発熱反応）
- エントロピー (S)  
散らかり具合（乱雑さ）を表す単位。  
エントロピーの増加 ( $\Delta S$ )  
 $\Delta S$  がプラス (+)  $\Rightarrow$  散らかり度が上がる。  
 $\Delta S$  がマイナス (-)  $\Rightarrow$  散らかり度が下がる。

エントロピーは、分子等の活動自由度を表す定量的指標です。単位は  $\text{J/mol} \cdot \text{K}$  (ケルビン) または  $\text{cal/mol} \cdot$

K となります。

どちらも化学反応や物理変化の理解にとって重要です。エネルギーと秩序のバランスを考えるために使われます。???

## 改善のヒント 第3回

今回も、職場の問題に対する対策の紹介です。前回までは判り難かったので改善しました。

【5】

| 問題                   | 原因                                                       | 対策                   |
|----------------------|----------------------------------------------------------|----------------------|
| 危ない                  | 触れる<br>滑る<br>不備 $\rightarrow$ 不安                         | 危なくナイ化<br>安全化<br>安心化 |
| 対策                   | 具体策                                                      |                      |
| 危なくナイ化<br>安全化<br>安心化 | 触れナイ化（カバー化）<br>滑らナイ化（滑り止め化）<br>予知・予測 $\rightarrow$ 予備・予防 |                      |

【6】

| 問題                      | 原因                                   | 対策                      |
|-------------------------|--------------------------------------|-------------------------|
| わからない<br>わかり難い<br>迷う    | 見えない<br>複雑・煩雑<br>不明確・あいまい            | わかる化<br>わかりやす化<br>迷わない化 |
| 対策                      | 具体策                                  |                         |
| わかる化<br>わかりやす化<br>迷わない化 | 見える化・視覚化<br>シンプル化・カンタン化<br>ハッキリ化・明確化 |                         |

<続く>

## 編集者より

皆さんは宮城県の名前の謂れをご存知ですか？  
県の名は、塩釜に塩竈神社と志波彦神社(宮)があり、多賀城に(城)が置かれていた事からきているそうです。宮城県は地の利があり、自然・気候に恵まれ、産物も豊かです。加えて人々の心も穏やかです。  
先人達がこの地にお宮を建て、お城を築いた気持ちも判る気がします。確かに災害も多い地域です。しかし、この素晴らしい宮城の地に日々暮らす私達は、天恵に感謝し、この環境を守り、減災に努め、後世に伝えて行きたいと思う今日この頃です。

本 NEWS の配信をご希望の方は、件名に「NEWS 配信希望」と記載し、本文に必要事項(会社名、担当者名、メールアドレス、連絡先)を記載して、下記アドレス宛にメールして下さい。

【発行者】

経営コンサルタント事務所  
ダイナミックビジネスブレイン株式会社

宮城県仙台市泉区将監殿 4-8-2  
info@dynamic-bb.com  
http://www.dynamic-bb.com